

マーブルシリーズが黒と茶色の街並みを
違和感なく自然に演出します。

BLACK



【一般的な黒色の街並】



【マーブル黒色の街並】

MIX



【マーブル黒色・マーブルブラウン色の街並】

BROWN



【一般的な褐色の街並】



【マーブル褐色の街並】

あなたの屋根は
「やきもの」ですか?

セラムくん
かんきょうくん

CJK対応製品をご希望の際には必ず
「CJK対応のセラムFフラット」希望とご用命ください。

■安全に関するご注意

- 当社製品を使用される際は「瓦屋根標準設計・施工ガイドライン」に基づく施工を推奨します。
- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落落・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

■製品に関するお願い

- 天然原料の粘土を使った自然素材である焼成瓦特有の色ムラが発生する場合があります。
- 日焼けによる色あせや、ホコリの付着など外的要因による色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根瓦としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が発生する場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表層面に発生する亀裂であり、本体生地までの割離ではなく、品質の劣化を伴うものではありません。
- 陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬面にビンホールと呼ばれる小さいへこみや粘土素地の露出が発生している場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するのですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
- 反射率は出荷後経年変化等の要因により、低下する事もあります。
- 反射率の検査は抜き取り検査を行っています。また個体についての反射率は必ずしも一定ではありません。尚、役瓦は高反射対応していません。
- ナチュラルな風合いを出す為にマーブル色については一枚一枚にスパッタ(加飾)を吹き付けております。
- 油などの汚れが付くと取れにくいでご注意ください。
- 改良のため、仕様・外観は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- カタログ掲載の写真は、施工の一例であり実際と異なる場合があります。
- カタログ掲載の写真は、印刷のため実際の色とは多少の差があります。

CERAM-F FLAT

新しい街づくりへのご提案

Premium 高反射瓦



■三州瓦 製造・販売
新東株式会社

本社／愛知県高浜市論地町4-7-2
TEL(0566)53-2631 FAX(0566)52-2217
東京支店／東京都中野区本町6-21-13
TEL(03)5340-0811 FAX(03)5340-0810
ホームページ <http://www.shintokawara.co.jp>

この印刷物の内容は2015年7月現在のものです。
2015.07.20



Design

セラム F フラット システム瓦はグッドデザイン賞を受賞しました。

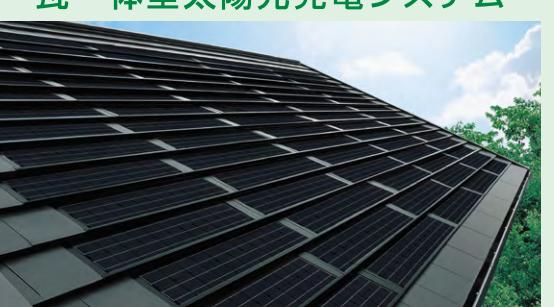
廻り隅瓦・システム谷瓦(左・右)

廃材を約1/5に削減



*エコブラック40はシステム瓦に対応しておりません。

瓦一体型太陽光発電システム



「セラムFフラット」は瓦一体型太陽電池との組み合わせで直線的なフォルムを損なわずシンプルでモダンな屋根を演出することを可能にしました。

ストレート袖瓦

(働き長さ280mm限定)



特徴

- 1.破風との一体化デザインが可能。
- 2.システム工法だから施工も簡単。
- 3.袖部からの雨だれを軽減。



特許申請中 特願2012-8875
登録意匠番号 1436664・1436665・1466577

雨樋は軒先からの雨がとれるようにストレート袖瓦の外側まで施工してください。

瓦で創る景

美しい街並み。そこには必ず美しい屋根が存在しています。

土の温かみを感じさせる「新たな色合い、素材感、風合いで醸し出す景」をテーマにした新色のプレミアム高反射瓦。

陶器瓦の優れた耐久性、遮熱性で日本の屋根を守り、シャープでモダンな美しい街並みをつくりたい、新東の思いが込められた新しい日本の屋根材の誕生です。

GOOD DESIGN AWARD 2013

[セラム F フラット システム瓦]

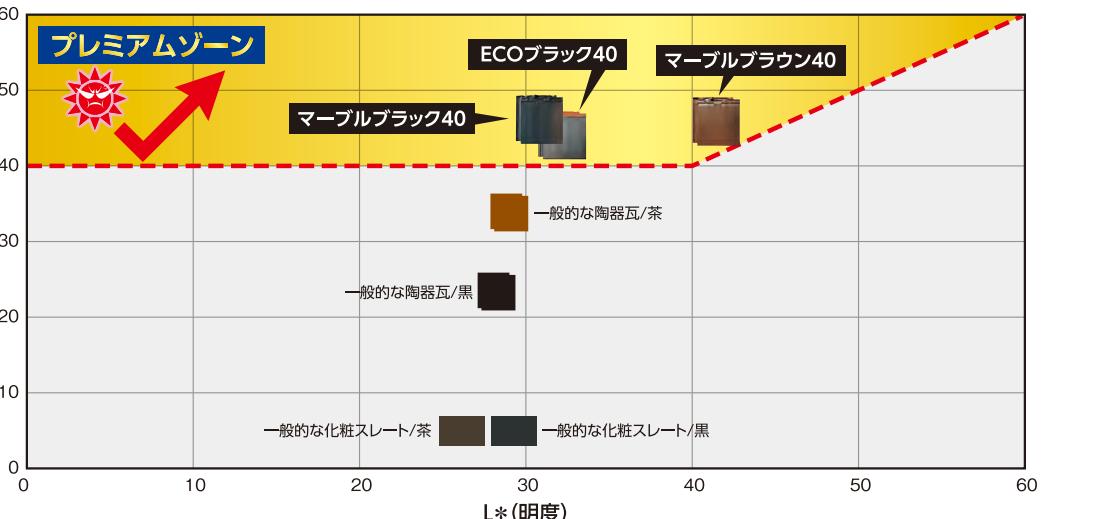
【審査員の評価】

且つて瓦屋根は、日本の屋根材として美しい家並み景観をつくっていた。耐久性や断熱性を備え天災や台風から家屋を守っていた屋根材であったが、今は軽量・安価の他素材の屋根材が台頭する。陶器瓦の持つ優れた特性を広めることを目標に、現代住宅に合う意匠性凹凸を排除しフラットな陶器瓦の開発。陶器瓦の持つ機能性はそのまま、シャープでモダンな日本の瓦屋根を実現し、太陽光パネルと組み合わせてもフルフラットに設置可能なシステムの考案。施工の簡素化を実現し熟練職人非ず、廃材を約1/5に減少させている。なによりも、その陶器の落ち着いた質感と佇まいが懐かしさと新しさを感じさせてくれる。美しい家並みの出現を期待したい。

高反射瓦 プレミアムゾーン

プレミアムゾーンとは近赤外線反射率40%を超える領域であり、かつ明度を考慮した規格ライン以上の領域です。
(自社基準)

規格ライン



Color

プレミアム釉薬が街並みに高級感を演出します。

マーブルブラック40 NEW



近赤外線反射率
約40%
高反射瓦

マーブルブラウン40 NEW



近赤外線反射率
約40%
高反射瓦

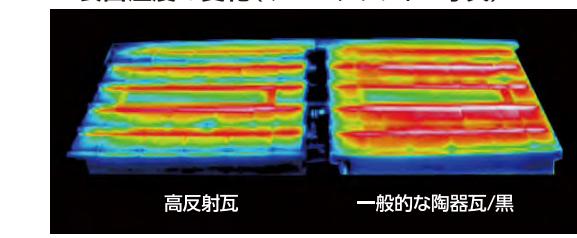
ECOブラック40 受注生産



近赤外線反射率
約40%
高反射瓦

表面温度差比較 高反射瓦／マーブルブラック40

表面温度の変化(サーモグラフィー写真)



マーブルブラック40は一般的な化粧スレート/黒との比較で近赤外線反射率が約8倍の40%、表面温度差については約22℃低下するという結果が確認できました。また、一般的な陶器瓦/黒と比較した場合、近赤外線反射率は約2倍、瓦表面温度については約11℃低下することから、瓦一体型太陽光発電の温度上昇による発電効率低下を抑制します。

